

千葉市政策評価運用指針の新旧対照表（案）

旧（千葉市新基本計画：平成24～令和3年度）	新（千葉市基本計画：令和5～14年度）
<p>1 評価の目的 新基本計画に掲げるまちづくりを推進するため、計画事業の進捗等を踏まえた指標の分析・考察を行い、行政課題を抽出する。これにより、行政活動の改善につなげるとともに、次期基本計画や実施計画の策定などに活用することを目的とする。</p> <p>2 評価の対象 評価の対象は、新基本計画に定める「まちづくりの方向性（政策）」を構成する「施策の柱」とする。</p> <p>3 評価指標 評価を行うにあたり、客観指標、生活実感指標、行動指標を設定する。</p> <p>(1) 指標 各指標は、以下の考え方にに基づき設定することとし、詳細は別表のとおりとする。</p> <p>ア 客観指標 施策の推進状況を客観的に示すもので、計画事業等の効果の反映度が高いもの。</p> <p>イ 生活実感指標 市民の生活環境に対する実感を把握するもので、日常で実感しやすいもの。</p> <p>ウ 行動指標 市民の公共・公益的活動の状況を把握するもの。</p> <p>(2) 目標値</p>	<p>1 評価の目的 <u>千葉市基本計画（2023～2032年度）</u>（以下、「基本計画」という。）に掲げるまちづくりを推進するため、<u>実施</u>計画事業の進捗等を踏まえた指標の分析・考察を行い、行政課題を抽出する。これにより、行政活動の改善につなげるとともに、次期基本計画や実施計画の策定などに活用することを目的とする。</p> <p>2 評価の対象 評価の対象は、基本計画に定める「まちづくりの<u>総合8分野</u>」を構成する「<u>政策単位</u>」とする。</p> <p>3 評価指標 評価を行うにあたり、客観指標、生活実感指標、行動指標を設定する。</p> <p>(1) 指標 各指標は以下の考え方にに基づき設定する。</p> <p>ア 客観指標 施策の推進状況を客観的に示すもので、計画事業等の効果の反映度が高いもの。</p> <p>イ 生活実感指標 <u>「まちづくりの総合8分野」（別表1を参照）</u>に対する市民の生活環境における実感を把握するもので、日常で実感しやすいもの。</p> <p>ウ 行動指標 市民の公共・公益的活動の状況を把握するもの。</p> <p>(2) 目標値</p>

旧（千葉市新基本計画：平成 24～令和 3 年度）	新（千葉市基本計画：令和 5～14 年度）
<p>客観指標について、実施計画の目標年次ごとに目標値を設定することとし、詳細は別表のとおりとする。</p> <p>4 評価時期 各実施計画の計画期間終了後に実施する。</p> <p>5 評価方法</p> <p>ア 各局等の長は、所管する客観指標について目標値に対する達成状況を把握し、実施計画の事業等の進捗状況や外部要因と関連付けた分析・考察を行うとともに、課題及び今後の取組みの方向性について検討し、行政活動実績評価シート（別記）を用いて、行政活動実績評価を行う。各局が実施した行政活動実績評価について、総合政策局において改めて調整を行う。</p> <p>イ 総合政策局は、生活実感指標・行動指標について、市民アンケートにより、実感及び活動の状況について理由も含めて把握するとともに、分析・考察を行う。</p> <p>ウ 総合政策局は、行政活動実績評価及び市民アンケート結果の分析・考察を踏まえ、指標を関連付けて、総合的な分析・考察及び行政課題の抽出を行い、政策評価シート（別記）を用いて政策評価（案）を作成する。</p> <p>エ 評価の妥当性を専門的な見地や市民の視点から確認するため、政策評価（案）について附属機関の審議を経るとともに、パブリックコメント手続により市民意見を聴取したのちに、市が政策評価を決定するものとする。</p> <p>6 評価の公表 評価結果は市民に公表する。</p>	<p>客観指標について、実施計画の目標年次ごとに目標値を設定することとし、詳細は別表2のとおりとする。</p> <p>4 評価時期 各実施計画の計画期間終了後に実施する。</p> <p>5 評価方法</p> <p><u>(1)</u> 各局等の長は、所管する客観指標について、<u>目標値に対する達成状況を把握するとともに、達成・未達成の要因について</u>、実施計画の事業等の進捗状況や<u>ステークホルダーの状況、その他</u>外部要因と関連付けた分析・考察を行う<u>ほか</u>、<u>課題を抽出し</u>、今後の取組みの方向性について検討し、行政活動実績評価シートを用いて、行政活動実績評価を行う。各局が実施した行政活動実績評価について、総合政策局において改めて調整を行う。</p> <p><u>(2)</u> 総合政策局は、生活実感指標・行動指標について、市民アンケートにより実感及び活動の状況について理由も含めて把握するとともに、分析・考察を行う。</p> <p><u>(3)</u> 総合政策局は、行政活動実績評価及び市民アンケート結果の分析・考察を踏まえ、指標を関連付けて総合的な分析・考察及び行政課題の抽出を行い、政策評価シートを用いて政策評価（案）を作成する。</p> <p><u>(4)</u> 評価の妥当性を専門的な見地や市民の視点から確認するため、政策評価（案）について附属機関の審議を経るとともに、パブリックコメント手続により市民意見を聴取したのちに、市が政策評価を決定するものとする。</p> <p>6 評価の公表 評価結果は市民に公表する。</p>

旧（千葉市新基本計画：平成 24～令和 3 年度）

別表
生活実感指標・行動指標

No	方向性	区分	指標名
1	1	生活	市内の緑を豊かだと感じる割合
2			市内の水辺が魅力的だと感じる割合
3	2	実感	市内に安心して出産・育児ができる環境があると感じる割合
4			市内に高齢者が生きがいや役割を持ち、安心して暮らすことができる環境があると感じる割合
5			市内に障害のある人が暮らしやすい環境があると感じる割合
6	3		市内に男女共同参画の考え方が根付いていると感じる割合
7			子どもが市内の小中学校で充実した教育を受けられると感じる割合
8			市内に、地域で市民が学べる環境があると感じる割合
9			市内に文化・芸術活動に親しめる環境があると感じる割合
10			市内でスポーツを楽しめる機会があると感じる割合
11	4		市内の公共交通が便利だと感じる割合
12			市内の道路は移動がしやすいと感じる割合
13	5		市内に魅力的なまちがあると感じる割合
14			市内に農業・農村に親しめる環境があると感じる割合
15	-	行動	地域や社会に役立つ活動の状況
16			ふだん行っている活動の状況

客観指標（略）

新（千葉市基本計画：令和 5～14 年度）

別表 1
まちづくりの総合 8 分野

分野	分野名	政策名
1	環境・自然	政策 1 脱炭素化などの地球環境保全を進め、持続可能な社会を創る
		政策 2 緑と水辺を身近に感じ、愛着を持てる環境を創る
2	安全・安心	政策 1 災害に強いまちの基盤を整備する
		政策 2 多様な主体の連携による防災力を高める
		政策 3 消防・救急体制を充実・強化する
		政策 4 安全・安心な市民生活を守る
3	健康・福祉	政策 1 健やかに暮らせる社会を創る
		政策 2 高齢者がいきいきと活躍できる社会を創る
		政策 3 障害のある人もない人も、自分らしく生活できる共生社会を創る
		政策 4 住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会をつくる
4	子ども・子育て	政策 1 子どもを産み・育てやすい環境を創る
		政策 2 自ら未来を切り拓いていくことができる子どもを育成する
5	地域社会	政策 1 誰もが個性を活かし活躍できる環境を創る
		政策 2 多様な主体の連携によるまちづくりを進める
6	文化芸術・スポーツ	政策 1 文化芸術が生まれ、広がる環境を創る
		政策 2 スポーツに親しむ環境を創る
		政策 1 持続可能で魅力あるまちづくりを進める
		政策 2 都市の力を底上げするネットワークを整備する
7	都市・交通	政策 3 まちの発展にテクノロジーを活かす
		政策 4 暮らしを支える基盤を創る
		政策 1 地域の産業を支え・育てる
8	地域経済	政策 2 観光の振興と MICE の推進によりまちの魅力を高める
		政策 3 農林業の持続的な発展を支える

別表 2（略）